

新潟県

公民館月報

昭和52年11月号

発行所 新潟県公民館連合会
【新潟市一番堀通町・県教育庁社会教育課内】
【電話・(新潟)23-5511 内線3670】 【振替新潟
4094】

発行人 会長 石井耕一
編集人 事務局長 本田 清
【定価1部 70円 年共 840円】



全公連新潟大会・特集

盛況・全公連新潟大会

地域共同社会の核

公民館の使命を確認



県民会館の会場を埋めつくした全国からの参加者

このたびの大会は、公民館の新しい時代の第一歩ともいえるべき大会で、従来の公民館や社会教育の枠の中で公民館の振興策を研究討議してきた大会から、新しい地域共同社会(コミュニティ)の形成というより高い視点から、これからの公民館のあり方、振興策を研究討議しようという点に大きな特色があった。

しかし、昨年の県大会の経験から概念規定に討議が突っ込まなければよいがとの心配もあったが、いきなりコミュニティを出さずカン書まで、新しい地域共同社会との表現が結果的には素直に受け入れられた。

日頃コミュニティづくりで最も大切なのは「人間関係」と考え、本大会の主題から考えて参加者と地元との心のかよひあひこそ大切なのではないかと考えた。

緊張気味の開会式のステージで受影者を羨むな言葉でねざらう田村会長の姿と、稲葉修・元都庁大臣の祝辞はほのぼのとしたものがあつた。

感じられ、川上市長の歓迎のことばは、あたかおおつたの半分のように私には感じられた。

最も印象的だったのは、開会式フィナーレの「お母さんコーラス」の皆さんの「新潟県歌」と「市民歌」の合唱と、全員で歌った「公民館の歌」であつた。

ふだん書のお母さんだが、胸を張って曲高らかに自分たちのまじの歌をみんなで歌う姿で止しくコミュニティだと思つた。

そして、ふだん書の住民どもに歌い歩む姿こそ、これからの公民館の姿ではないかと思つた。

分科会の研究討議は本大会の成否をかけたポイントであり、事務局でも事前に資料を発行、配付したもので、綿密な事前打ち合わせをしてきたものにしたのは、新潟市中央公民館の学級生や利用団体の婦人たちの、ほのぼのとしたまたかいい心のこもった湯茶の接待などであつた。

ここにも住民とともに歩むこれからの公民館の具現像を見るおもいがした。

「皆さんおはようございます。みやこをのがれたればわもごんじおうちまするささとのま」

と歌った歌人・会津八一「ふるさと」は詩ることなしの文学碑を寓居の法に残した坂口安吾のあるさ新潟の印象はかがでこぼりましたか。」

気負いとさる気ない鶴巻中央公民館長の第三目の朝のあいさつを聞きながら、この大会の運営で結果的にそうだったにせよ、総記担当の記録者として感じたいくつかの大会のプロフィールをお話して、今大会の成功と地場事務局の努力を心から祝い、ねぎらい、讀ほんとに「苦労さんでした。ほんとにありがとうさんでした。(総記担当・柏崎市中央公民館事務局長・徳間助夫)」

一年がかりで準備してきた全国大会、たった三日間ほどの集いながら悲喜こもこも、喜怒哀楽の波を乗り越えてきての開幕であつた。しかも県民会館側の一方的な都合を押しつけられて、事前設置もリハーサルもできないままのぶっつけ本番であつた。しかし、みんなよくやった。そして当然のことながら新潟大会の評価は高かつた。ここに大会参加者の手記を中心に特集を組んだ。(編集子)

印象三つ

分科会の運営に、新機軸が見られた。前もって「運営の手引き」が送られてきた。前後の打ち合せでも、十分と見うけた。(部会助言者、キヌエまかに取りあげられ、奈良県四天王寺女大(大津教授))

松末三男

開会式の種葉詞がすばらしい。教育・文化に關係する者が第一義的で、政治家はサービス的存任にすぎない。(一)

新潟大会参加手記

町で道をたずねると、手引かんばかりの身でなしに、故郷を大切に、先人を顕彰するものが、強くにみだてている。公民館活動先進県の首脳を引かんと見うけた。(部会助言者、新潟県四天王寺女大(大津教授))



議長団の一人として活躍した石井新潟県公連会長(右)

美しい新潟

二、今年の新潟大会は、今までの形式による最後の大会となると思われるが、この記念すべき大会のテーマとして、新しい地域共同社会の創設に、公民館がどう寄与すべきかの問題を取らされた。このことは今日(部会助言者、新潟県公民館長)

尾関正爾

一、佐渡おびさの節と踊りの公民館、明日の公民館を考える。この大会が開幕したこと、は、まことに印象的であった。日本人の心の話といってもいい佐渡おびさのリス素朴に磨きあげられた踊りのペースは、日本人の早急この問題をどう取り組んでおられること改めて敬意を表する。(部会助言者、新潟県公民館長)

宣言決議

われわれは、第26回全国大会において、公民館の新たな飛躍的發展を期するとともに、新しい地域共同社会の形成に寄与する公民館のあり方を求めて、施設・設備の整備と職員の充実向上をはかるための行財政施策ならびに公民館活動の具体的推進方策について研究討議した。

その結果、公民館の果たすべき使命がますます重大であることを確認し、とくに緊急かつ重要な次の事項が速やかに実現されるよう、関係当局に強く要望することを決議する。

記

1. 公民館建設費補助の大幅増額をはかり、定率制の実施、および起債許可額のわくを拡大すること。
2. 公民館における生涯教育事業振興費補助の増額と補助率の改善向上をはかること。
3. 公民館を義務設置とし、公民館職員の身分資格を明確にするとともに、常勤専任の公民館長および公民館主事を必置制とするよう早急に社会教育法を改正すること。
4. 地方交付税における公民館費の単位費用算定基準を合理的に改善し、増額をはかること。
5. 公民館における同和教育をすすめるための諸施策を推進すること。

昭和52年10月13日

第26回 全国公民館大会

例のない討議

私共都市青少年教育の分科会に割り当てられました(部会助言者、新潟県公民館長)

田代元彌

とまで新潟へ来出す機会を得ておりますが、行くたびに新潟市街が東京とどっくりに変わってきていることある感懐をもっていました。(部会助言者、新潟県公民館長)

が、若いも若きも参加者の多くが、私直な足で話し合っ、従来の例をみないほど新鋭な討議が交わされ、深い感銘を受けました。会場が、深い感銘を受けたことも与って力があったと思ひます。ただ、私は市内で、青信号の横断歩道をわたる途中、若い下ライパーに暴走して来られ、危うく心かきを改めて認識し得たこととは、私自身の喜びでし、外部的な都市化が進んでも、県民の心のよりどころとしての各公民館が、いかに市民を「まとも」にしていくことが如何にむずかしいか、改めて考えさせられる一節もありました。(部会助言者、新潟県公民館長)

忘れられない大会

横山正人

三、最後の見送りに感無量。大会場から去りゆく会場を、女大生が新潟県大会役員・係員の皆さんが、あたたかく見送っていただいたことに感無量のものがあった。連番のききまで結ばれた。僅か「二階」ではあったが、去り難い気がいっぱい、最後を心かきで思い出した。(部会助言者、新潟県公民館長)

一、事前の準備の周到さ。部会(分科会)運営の手引きを前もって助言者・司会者に送っていただけで、心の準備をして大会に臨んだこと、この一事をとって、前もって事前の準備が周到であったかを是非に物語るものと思ふ。二、新潟日報の社説に敬意。大会の前々口「公民館公民館大会に期待する」との社説、感銘深いものを覚えるとともに、非力な身のおきどころのないような焦燥感にもかかられた。この大会を契機として公民館人よ、団結して雄々しく進めよとの誓いを打ち合わせたのは、握手のことではあると思ひ、ホントにありがたひなことと感謝し、心からお礼を申し上げることに、その心を心としてお互いに努力することを誓ひたい。

大会の印象と成果

(その2)

北海道から沖縄までの参加者のなかから無作為に四十数名の方々をえらび、大会終了後ただちに新潟大会参加感想記執筆の依頼を發したところ、二十数名もの方々からこのような手が記が集まった。

案するほどの失点はなかったようである、おおむね好印象をもって帰任されたようである。

心の融和

山本美美子

山あいの線路 栞談に並んでおられたが、大会を縫って、巨大の受入れ態勢が、これまで私が見な山が目前に迫り加したの大会よりもよかつたと思つた。二、三期会行事について

格調ある開会式

周到緻密な計画と運営

強烈な印象

三室彦太郎

誇るべき日本文化の象徴ともいふべき「佐渡おけさ」に導かれ、開演された第26回全公連新潟大会

みぞじかに肌を感じとつた次第で、大会の内容もそのヤマとみられた分科会が、質量ともに充実した参加者の熱意あふつた討論が展開され、大いに盛りあがりました。日本の公民館のもつべき理想と、社会教育活動のもつべき今日的役割の重大さに改めて認識を深めた次第です。

われら公民館人としてフロンティア精神に徹し、天職としての生きがいを感じ、今後、飛躍的発展への努力を、そつ積みあげていかなければ、嘗て新たな輝郷を築くことが出来ません。

一、受入れ態勢について
駅に着いたら案内係が親切に道順を教えてくださいました。総会がすすんで宿がわからぬまま、最寄りのホテルで尋ねたら、ここで親切に私の宿を電話で探して下さった。大会場には相係が置かれ、次々と

暗い会場のステージの銀幕は映された新潟の海の絶景を背景に映り広げられた「佐渡おけさ」の踊りの中、厳しくも美しい芸術、全参加者の魂を奪った。そしてお互いの心が融和し、大会の研究意欲を感じあげた。運営・進行・内容について、運管・進行共に立派で、主催者側のご配慮の程が伺われた。内容も適切であったが、今少しつづ

暗い会場のステージの銀幕は映された新潟の海の絶景を背景に映り広げられた「佐渡おけさ」の踊りの中、厳しくも美しい芸術、全参加者の魂を奪った。そしてお互いの心が融和し、大会の研究意欲を感じあげた。運営・進行・内容について、運管・進行共に立派で、主催者側のご配慮の程が伺われた。内容も適切であったが、今少しつづ

かの新潟地盤の大災害から、いち早く復興の底力をみせて立ち上がった新潟民の努力と、町づくりに人づみのなぐましい意気

果であった。それは、ユニークな公民館との位置づけである。当館では、公民館活動を通じて育った利用者が、それぞれの地区の指導者となって自主的に「ミニミニ」委員会を組織して、地区内の種々問題について自主運営していき、この様な学習を進めていく上で、自分達の住民問題を自分達で解決し、必要に応じて公民館に指導・助言を求めたい。

これからの公民館は、これらの多種多様にわたる住民の要求を吸収して整理し、社会教育を通じて各部局に流し、これが地方自治体

の行政目標の基本とならなければならぬと思つた。今後の社会教育は、首長部局と直結した位置づけとなつて、住民のすべての要求に適確に答えてこそ、真に住民に支えられた教育施設としての使命が果たされるのではなからうかと思ふ。

これは一夢物語でしょうか。

三室彦太郎
三室彦太郎

石井 松雄
直結せよ

北国の真骨頂
小幡 博克

新しいふるさとのあり方
原 一郎

戦時中の学徒動員の時、川崎市の浜通の工場で、新潟の女子挺身隊の方々と密書の密着をうけながら、共に数カ月働きました。その時の思い出が忘れられない思い出に残っています。

しかし、二十二年経て実際に新潟の土を踏み、話を聞いて、そ

イメージを患念から思い浮かべつつ「北海や 佐渡に横たふ 天の川」

行財政部会(都市分科会)発表者として参加し、美り多い思い出を残し、帰郷しました。

大会が盛況で成功したのは、天の時・地の利・人の和に加えて、引き受けの新潟県公民館連合会の団結のためと思われてなりません。

素質・環境・努力の均衡ある保持が、知・徳・体、また、真・善・美の完備した人格形成と因果関係あり、と言われます。

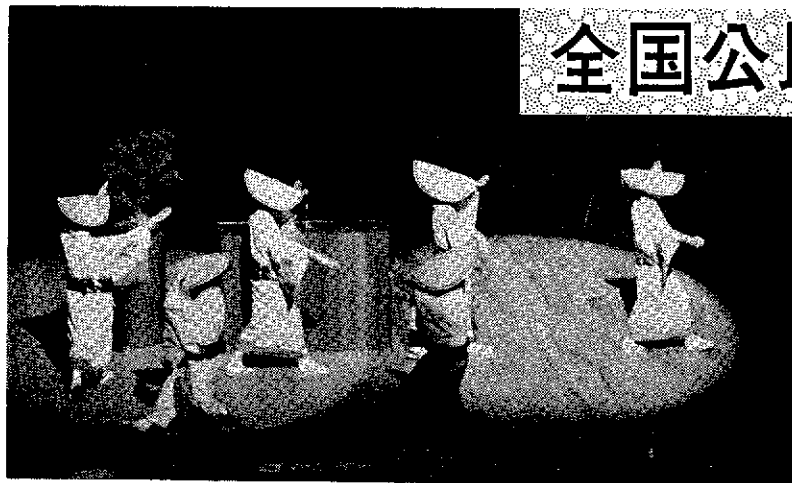
大会の閉會中、会場・宿舎・街頭等で、新潟県民の形進に対する心暖まる接遇に対し、北国の真骨頂を賞賛し、感謝しつつお二杯いただきました。

新しい地域共同社会(コミュニティ)の育成推進のため「公民館人とし、この生きたく体験を出発点とし、口に新たな、口々に新たなで進みたいと思つております。

(岡山県倉敷文化センター館長)

「良寛さん」と社会教育
佐藤 昭孝

全国公民館(新潟)



(強烈な印象を与えた佐波おけさ・開会式)

の紙を一つも開くも全く感じられなかった。けないでしまっ
 こういう想いの中で、新しい地
 域共同社会づくりを目的とした公民館のあり方について、熱心に研
 究討議されたが、良寛の誕生の地
 から見た日本海だけに、公民館事業の具体的な方策
 は全く済みきつ
 等々の論議は真剣そのものであ
 ており、そのそ
 る季節風のたつ
 真なのに「海は 民的に交わり、「良寛さん」の愛
 意海向うは度海 称で子供らと柳の下で遊び、若者
 ず……」の風情と益踊りに興じる姿を、親しみの

住民との連携プレー

三上 武博

日本海の荒波、しぶきの音ととも
 もにスポットライトで浮かんだ
 「佐波おけさ」で大会が盛大に
 開催されました。午前十時三十分
 全公連会長・田村賢作氏より公民
 館優良職員表彰をうける、北は北
 海海、南は沖縄までの公民館人四
 十四名、その誇りと自覚が一人ひ
 士隊が持ち帰ればありがたいと
 思います。

「写真以外は何もとらないで下
 さい」「口癖以外は何も残さない
 下さい」新潟県下のある所で揮
 扇した。社会教育は、環境の
 醸成をはかる人づくりであり、経
 費もかからず、見る人々に無言で
 この「人づくり」がされており、
 さすが教育界新潟であると感じ
 たしました。

もて多くの雑話を残し、無言の
 感化を与えているが、これこそ真
 の社会教育ではないだろうか。い
 まま手に帰って、しみじみその感
 じている。
 (若手県花巻市社会教育課長)

どりの顔面にしびれている。一
 人ひとりの顔張した姿が印象に残
 っています。

「流動する現代にあつて、社会
 教育の重要性を公民館人は再認識
 する。とりわけ活動の場・基地と
 なる公民館、生涯教育の実践の場
 である公民館の果たすべき重要な
 んだ」と三上同人のナマの声を
 再確認。われわれ同人は「住民の
 求めている公民館像」を多角度か
 らもう一度追求し、探究し、住民
 と公民館との連携プレーの中で、
 血のかよった等面活動を展開して
 いかなければならぬでしょう。

社会教育と地方自治

武田 新平

すばらしい開会行事、雲一つな
 い快晴に恵まれ、広大で清潔、し
 かも暖かさと親しみを感ぜさせら
 れる公民館を会場とした開会
 式。事務担当の方々の整利とし
 た対応ぶり、優美な佐波おけ
 さで開演、婦人コ・ラスの見
 事なハーモニで開式へと運営さ
 れた演出に感激を深めました。

唯一つ、田村全公連会長ののびさ
 つは、大会資料で述べられている
 ので、そのままで好むのであろう
 か。

午後の方科会では、私は行財政
 (豊中市立黄池公民館長)

いす。
 (青森市立中央公民館係)

「先駆者に
 村田 昌久
 コミュニティセンターとしての
 公民館が、地域の連携感をたかめ
 る源泉であるなら、全国公民館大
 会は、世界の中の日本の国内に
 おける連携性をたかめる唯一の場
 としての価値を見出すことにな
 ると思うのだが、お集まりの一
 人一人の表情には、もう一つ盛
 上がりが見えなかった。公民館運営
 の理論と実践には、情熱を持って
 臨むわれわれである事は、各部会
 においての熱意に判然と表明され

国際感覚の先駆者に

村田 昌久

ているが、社会性乏しい日本人
 相互の日本国内において、相互に
 他国視する傾向が未だ消え去って
 いない面を言いた。もう少し時間を
 かけることが許されるなら、これ
 また知り合い同志の語が生まれ、
 すっかり打ちあけるのも、われわ
 れ日本人の特性であろうから、
 どのような演出も必要と思ふ。公民
 館関係者こそ日本人の社会性意識
 の先駆者とならねばならぬし、
 そのようなチャレンジングが地域公
 民館における連携感を一段と高め
 る源泉とならう。世界の中の日本
 人として国際感覚を要求される
 公民館活動には、そのよう源泉
 も今後大いにとり入れてゆく必要
 性がある。島国日本であるから、

ねはならないが、社会教育は本来
 地方自治の仕事であることを再確
 認したい。(徳島県公民館会長)

めには必要を施設・設備・運営費・
 担当職員等の問題は、館長がもっ
 と積極的に取り組むという創意と
 努力が必要なのではなからうか。
 もちろん社会教育法の改正も叫ば

無言で語るもの
 松波那三郎

第二十六回全国大会が民間佐
 波おけさ」で開きされ、二日間の
 日程を次年度開催県、香川県公連
 会長のお引き受けの力強いお言葉
 で閉幕となり、盛大に開催されま
 したことは、まことにその真方を
 務められました新潟県公連関係者
 の方々の企画・運営等、お苦労が
 多かつたことを存じ、お世話にな
 り厚くお礼を申し上げます。

同志と握手

岸本 剛一

船泊に全公連主催の第七回海外
 視察団員として同行した仲間さん
 がおられますので、第二十八回大
 会には、是非参加したかと前々か
 ら思っていました。もうひとつは
 は、前・田中総理大臣の出席願で
 もあることから、マスメディアは
 私急に色々の報道をするので、そ
 ろもりました。

さて、大会に出席して、主会場
 の具民会館はとも大々く、施設
 も立派であり、全国から集まった
 同志や仲間と握手して、共に健在
 であることを喜び、この全公連大
 会が、毎年行なわれることについ
 て感謝の心が湧いてきました。ま
 ち、地元新潟県との関係者は、昨年
 の大会後から今年の大会まで準備
 備さひました様子が、目に映る
 ようでした。小生も十数年、社会
 教育界を歩かせてもらっています
 が、毎年、何か祭り事でも、いつ
 も準備をする係ですが、そのノロ
 センが、小生の生きがいであり、

さすがに、暮日本では、一番きれ
 い都市だけあって、本町にきれ

大会の印象と成果(その3)



(熱心な婦人参加者・主会場にて)

社会教育のよう
に思えてなりま
せん。
二、三日、全体
集会で、分科会
の報告や四書
の話しを聞いて、
これが全固
平均値かと思っ
て、なるほどど
うなすかさま
した。

いみじくも、全公連の榊正副会
長の姿が見えず、どうしたかを聞
いたら、病床と聞き、さみしく思
いました。
(岡山県美音町公民館)
綿密豊富な運営
重栢 憲人

私には、新潟とは同じ日本海側に
あるが、根拠は隣の島から参加した
者ですが、山陰地方から新潟へは
鉄道の便が大変不便で、東京廻り

の方がかえって早いという状況
で、磯岐の島からは、いか釣船で
行った方が早いではないかといっ
て笑ったものでした。結局、夜行
で大取へ出て、特急「北越二号」
で北陸の秋景色を楽しみながら新
潟入りしました。
初めて見る新潟は、日本海側最
大の港と誇っているだけあって、
活気に溢れ、越後平野の広さと共
に暮日本とは思えない力強さを感じ
ました。大会の感想としては、
まず、民謡「佐渡おけさ」で始ま
った開会式の演出は、ローカルカ
ラードソングが良かったとして、
分科会も全体会も活発な討議
が行なわれ、林先生の講演も感銘
深く、アトラクションの郷土芸能

にするには生涯教育の観点に立っ
た体系的な社会教育が必要と考
えます。大会決議された社会教育法
の改正が、一日も早く実現するよ
う切望して止みません。
(北海道若内町公民館長)

紹介も見えたが、大会に
花を添えるものでした。
全戦を通じて、地元大会関係者
の綿密な企画により、大会はス
ムーズにも内容豊富な運営がな
され、参加者にとって意義深いも
であったと感謝いたします。
有難うございました。
(鳥取県隠岐郡五箇村)

**印象的な
あいさつと祝辞**
福田 忠

先般、公民館全国大会参加の機
会に恵まれ、多くのものを学びと
らせて頂き大変ありがたく思っ
ている。
新潟市は初めてであったので、
大層清潔をばさんで広がる近代的
な市街の美しさは格別である。主
会場の県民会館の建物も素晴らしい。

北陸の秋深い自然と、おけさの
風情にふれたに願いを片隅の期待
として、わたしたちの最高会議と
もいえる大会に参加した。
恵まれた施設を十分に生かされ
た会場設備は、開催関係者のご
苦労が随所に感じられる。

魅力は、宿の人の親切さと共に忘
れぬものである。
終りに本大会の準備や運営にご
心配下さった各位に心からおれ
を申しあげます。
(山口県油谷町教育委員会)

苦勞が随所に見えており、緊
張の中の湯茶の接待が心地よくな
ごみ、大会参加の印象の一つであ
った。
さて、大会の本命とされる部会
活動(分科会)が多目的にわたる
過ぎたきらいがあるように感じた
のは、私一人だったのだろうか。も
う少し各テーマを集約(例:共同
和歌は基礎の理念だから、サブ
テの活動分野の中で促して)そ
のためにボケる事のないよう)す
る方法がなかったのだろうか、自分
自身参加者であり、即、主催者で
ある者としておもう。全国と
いう形態、都市と町村という不
一致の条件の中で、画一的という
事は出来ないが、とも考えたい

笹だんごの味
仲 重信

信濃川べりからみる依然とした
川面。そして付近の静かな町な
み。一方で活況を呈し賑やかな面
を持合わせながらも、また、町
中で拾った運転手さんの期待から
も、おちやかな話だと、ゆとりを
感じる。
新しい「コミニティ」づくりを言
指して、社会の進展につれ、新し

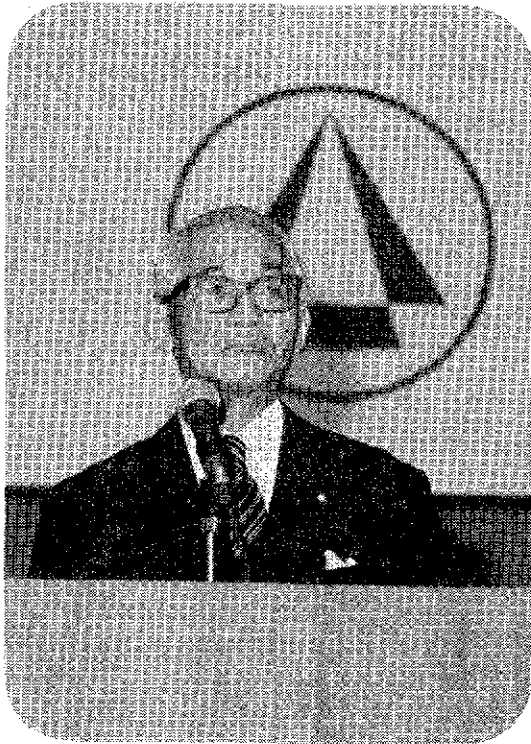
問題を抱えよう。最後に、全体会
場における同和教員分科会の山吉助
司の切なる訴えが、今も胸裡に
焼きついて離れない。
命しくも大会運営に続き、筆稿
昭和三十九年には文部大臣賞を
受けた活動実績をもっています。
しかし、今大会に参加して各地の
実情発表を聞くに、いずれの町
村も少ない職員の数に勤務によ
って支えられている現状はわか
ると大差なく、いささか不安を感
れたところでもあります。
学校教育と社会教育は車の両輪
の関係にあるとよくいわれるが、
現況は本当に車の両輪といえる
社会教育体系にあるだろうか。激
しく変動する社会では学習要求も
多様化・高度化し、これに対応し

人間性あふれる
雰囲気
大筆 敦雄

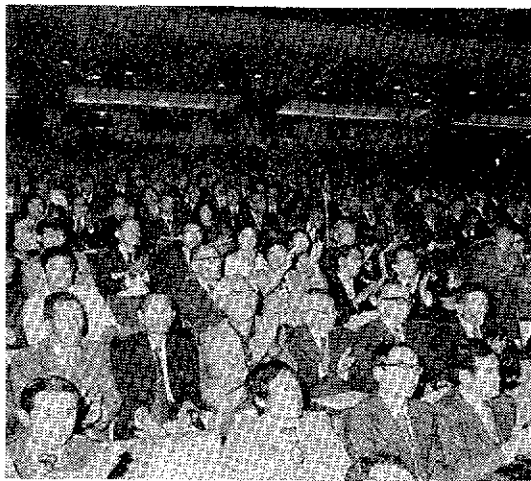
今回公民館大会が、北信越プロ
ンク内で開催されるのは三〇回の
金沢大会以来であり、初めての越
後路の大会を期待して新潟市に向
う。頭の中では、お隣の富山県
一つへ行った気分がからず、どう
位にしか考えていなかったが、な
ん特急にして乗車時間六時間、
果の大きさをまざまざと知らされ
ついでに北陸新幹線の早期着工を

私の方には北海道西岸の種村半
島に位置する人口二万六千人
の漁業の町ですが、公民館は設置
されて二十二年になり、この間、
昭和三十九年には文部大臣賞を
受けた活動実績をもっています。
しかし、今大会に参加して各地の
実情発表を聞くに、いずれの町
村も少ない職員の数に勤務によ
って支えられている現状はわか
ると大差なく、いささか不安を感
れたところでもあります。
学校教育と社会教育は車の両輪
の関係にあるとよくいわれるが、
現況は本当に車の両輪といえる
社会教育体系にあるだろうか。激
しく変動する社会では学習要求も
多様化・高度化し、これに対応し

全国公民館(新潟)



(前法相・文相の貫録、稲葉調はずばりしかった)



(思わず拍手する参加者)



(事務局員の拍手に送られて退場する全国の公民館人)

種感じながら新うと嬉しく感じると同時に、この大
潟市の土を踏 会運営に与られた関係者各位に
の土を踏 敬意と感謝を申しあげる次第。
大きな川と橋 (石川原七尾市高橋公民館主事)

討議内容と時間

小高 勝次

第千七回全国大会を開催して
周回の分科会々
場が一層深める
ことができた。
それはひき目
明るい気持ちの通いことができ
ては、私
達、雪の北陸人
特有の合い通い
る人間性がまた
らす雰囲気があ
ふれた各会場で
あったからなる
討議が重ねられたが、討議の主眼

点が四項目提出されたところ、
時間的に無理を生じて、掘りさげ
が不十分であった事は、一考を要
する点である。まして今後の研究
集点になるとすれば、討議内容と
時間の調整は一そう重要になっ
てくる。
昔言を述べる事は心苦しいが、
せつかくお出かけたいただいた講師
が、一日だけでお帰りになされた方
もあつたのは、参加者の期待とそ
びくものではないでしょうか。
また、全体会の発表者は、会員
・指導者の意見や助言をまもめて
発表することで、私見を多くさし
はさむものではないと思うが、ど
うでしょうか。
お世話になりました。
(埼玉県公連事務局長)

もつと時間が ほしい

室橋 敬次

秋晴れに恵まれて開催された第
二十六回全国公民館大会に参加し
感じた所見をします。
主会場が第一日目が原民会館
で、第二日目が市公会堂。二日間
の日程を同一会場で開催できな
かつたことが、くもまれてなりませ
ん。
新潟地歴復興記念の真民会館で
全国から集られた公民館関係者
をして研究討議して頂くべきでは
なかつたでしょうか。分科会も議
題にもつき、ブロック大会の研
究成果の発表があり、青少年教育
の町村部会では、新しい地域共同

社会づくりと公民館のなすべき青
少年教育のあり方について熱心に
討議され感銘いたしました。また、全
体会は部会の報告に時間をとられ
て報告に対する討議の時間がなか
つた点が残念でなりません。次の
大会からは多少時間的にゆとり
をもたたい。宣言決議案にしても
起草委員を出す前に案文が会場に
配布されるなど、形式的な審判機
成であったな。公民館職員的身
分資格を明確にする点にも、常
勤専任の公民館長の必置制が急務
であることを今後の課題であると
強く感じました。
同和教育もしかり、諸施策を推
進し全国民立等の新しい地域共同
社会づくりの推進しようではない
か。(中ノ原村公民館運営協議会委員)

関係当局の理解

山崎 賢隆

私の出席した高令者教育の町村
部会での討議の主眼点は、一、事
業計画の運営にあたり地域住民の
積極的勢力をはかるにはどうした
らうか。二、新しい地域共同社
会づくりのため公民館は他の諸施
設・機関ならびに団体とのよう
に連携をすすめるためどうか。とい
うこと。出席者の努力と苦勞につ
いて討議した。そこで、他町村に
比べて当村の埋まりが社会教育に
対し認識と理解の深いことに思
いいた。他町村の方々が熱心に社
会教育の中核施設としての公民館
が果たすべき役割を推進するため
役割に日夜努力しているのに対し

て、行政的施策のあり方が少な
からず疑問を感じた。公民館創以
来三十年、物も人も新々の中で
公民館時代は去り、高橋成長を背
景とする行政の高層化に対し、十
数年來このような大会に声を大
にして要望しながらも実現をみるに
至らない諸要請に対し、関係当
局の理解を一日も早く得ること
が、明日への公民館の新たな飛躍
的発展となるのではないだろう
か。
(横越村公民館長)

あの頃のこと



教諭兼
公民館主事 ①
中野 滋

昭和二十二年、新卒で北条・堀さんたち、本を讀む人、卓球、レノの内小に勤務していた頃、下宿の主へ「ずいぶんと教育された。毎晩のように始端で、これからの日本を語り、教育を論じ合った。そのとき、私は、次のような夢を話していた。

「村の一隅に小さな幼稚園を開いて妻に経営させた。幼稚園と家族の生活に必要な読書のスペースのほかは、図書室と広い集客の集客室をつくりたい。

毎朝、小学校の子どもたちは、登校の途中、私の幼稚園に幼なじみ、姉妹を連れて来り、私といっしょに学校へ行。放課後、学校の子どもたちは、再び、私の家に寄り、好きな本を讀み、レコードをかけ、勝手に遊んで二ときを過ぎ、夕方、團児を連れて帰って行く。

夕食が終わって家族がくつろぐ頃、村の青年たちや大人が、図書室や集客室に自由に出入りする。子どもたちの話を話し合うおかしな年たち、仕事の相談をするおやじ

「公民館」と私の出合いは、昭和二十六年九月、私が県教育庁北蒲原出張所嘱託を命ぜられ、学校関係事務と共に、北蒲原郡公民館連絡協議会事務局を担当した時である。

「公民館」というものを知ったとき、「私の幼稚園」の夢のよう

「こんな生活の場があったら、きっと子どもの学校の生活も安定し、すばらしい子どもに教育することができたらいい。」と。

幼稚園と保育所の区別も知らない、がむしやら猫身の頃のことである。学校の教育と、家庭での生活や教育がチグハグであることを感じ、何とかできないものかと考えた結論であった。

社会教育の社字も、公民館も知らなかった私が、その後、公民館との出合いに強い感動を覚えたのは、こんな夢と関連があったようである。

「編纂子注・筆者は香岡小学校校長・前県主任社会教育主事・草創期の現場公民館を知る貴重な存在として内外に重きをなした。」

当時、北蒲原公連の会長、石井耕一先生(現県公連会長)から、社会教育・公民館について御指導をいただいたわけである。

県社会教育行政も、ようやく本格化した。昭和二十七年、教育庁及出張所(県下十六)に、社会教育担当者を設置することになり、私は北蒲の担当を命ぜられた。たび重なる本庁召集の社会教育担当者会議を通じて、市川浩三郎先生をはじめ本庁社会教育課の先生方の御指導で勉強し、や

研修テキスト
公民館経営ハンドブック<4分冊>

日常出版株式会社
監修 湯上二郎 著者 湯上二郎 著者 湯上二郎
著者 湯上二郎 著者 湯上二郎

A5判・4冊セット(函入) 定価3,000円
送料120円
各冊・定価800円
送料120円

現代公民館研究会/編

●主な目次と執筆者

第1分冊 公民館の使命と組織		
1 生涯教育と公民館	湯上 二郎	昇
2 公民館の歴史	安原 昇	昇
3 コミュニティの形式と公民館の役割	湯上 二郎	純一
4 館長と主事の職務	吉瀬 純一	常喜
5 公民館運営審議会の運営	光安 純一	常喜
第2分冊 公民館の経営と管理		
1 公民館と法律問題	伊藤 俊夫	健生
2 公民館の設計と施設管理	林 健生	健生
3 公民館の予算編成と経理	西ヶ谷 悟博	博実
4 公民館経営の診断	朝比奈 博実	博実
5 図書館や博物館との連繫	佐々木 博実	博実
第3分冊 公民館活動の企画		
1 公民館活動の立案	安原 昇	昇
2 公民館活動の評価	岡本 包治	史直
3 公民館調査の進め方	渡辺 義亮	亮一
4 公民館広報の着眼点	樋上 亮一	亮一
5 クラブ・サークルの育成	沢田 正夫	正夫
第4分冊 公民館活動の展開		
1 学級・講座の開設と運営	春日 英明	洋教
2 集会・行事の企画と運営	楠谷 忠洋	洋教
3 図書室の利用と相談事業	中島 俊教	洋教
4 視覚覚教育の技法	宮本 俊教	洋教
5 体育・レクリエーション活動	日本レクリエーション協会	

※各分冊ごとに……
①公民館質問箱 ②公民館関係文献の解題と要録
巻末に①公民館年表 ②索引を掲載・県公連あっせん

らねばならない仕事として自己を深めたようである。

当時の社会教育は何としても公民館が中心であった。新潟県の公民館が「〇〇パーセント」市町村に設置を達成したのは昭和二十七年である。また、社会教育主事講習を新潟大学で開催、本庁・出張所関係者が資格を得たのもこの年である。

(編纂子注・筆者は香岡小学校校長・前県主任社会教育主事・草創期の現場公民館を知る貴重な存在として内外に重きをなした。)

公民館関係法令集

内容・教育基本法・社会教育法・社会教育施行令・公民館運営設置基準・通達「公民館基準の取り扱いについて」

A5判 34ページ
一部三〇〇円送料別

公民館関係の諸会議にご利用ください。
申込先・県公連事務局

あとかぎ

全国大会の基本計画を固めて示し、全公連と地元実行委員会の了承を得たあとは、県公連は流れのまにまに潤滑油の役割を果たすことに専念しました。

余公連、県教育主事講習、市社教課、同中央公民館、下越教育事務所社教課、下越公連という連合体は、巨大な勢力である反面、意志の疎通を欠きやすく、進軍途上、思いもよらぬ苦闘を伴っていました。

しかし市中央公民館を中心に大筋において協力しあいカバーしあって、大会を成功に導くことができたのは幸せなことでした。(本)